

この時計は次の機能を持ったデジタル時計です。

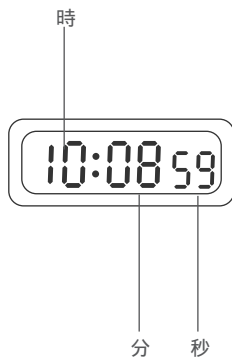
**時刻機能** 時、分、秒を表示します。

**カレンダー機能** 月、日を表示します。

**オートカレンダー** うるう年の2月29日のぞき、月末のカレンダー修正は必要ありません。

各部の名称とはたらき

時刻表示



ボタン (A)

ボタン (B)

時刻表示のとき  
押している間カレンダー表示になる  
時刻・カレンダー修正表示のとき  
合わせ

時刻表示のとき  
時刻・カレンダー修正表示への切換  
時刻・カレンダー修正表示のとき  
修正桁の選択

ボタン (B) は通常時は使用しませんので、誤って押さないように引っ込めてあります。修正時には先の細いもので押してください。

時刻表示

10:08 59

(A)

押している間と  
その後1秒間

カレンダー機能

12 6

月 日

**[ ご注意 ]** ボタン (A) とボタン (B) を同時に押すと、システムリセットがかかり、12月1日AM12:00となります。

## 時刻とカレンダーの合わせかた

① **時刻表示** でボタン (B) を押すと秒が点滅し、修正可能状態になります。

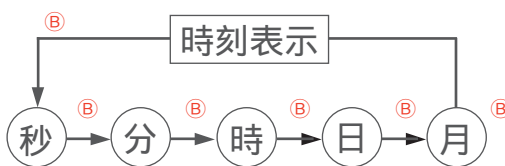
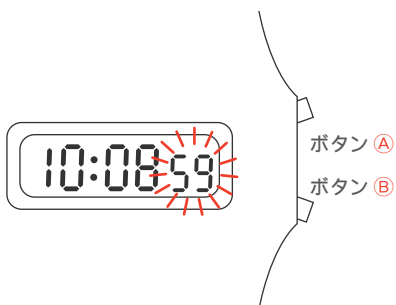
② ボタン (B) を押して修正する箇所を選び、ボタン (A) を押して合わせます。ボタン (B) を押す毎に修正できる箇所が次の順序で替わります。

秒合わせについて

- ・「秒」を点滅させ時報に合わせてボタン (A) を押すと、「00秒」に合います。
- ・「秒」が30～59秒の時、ボタン (A) を押すと「分」が1分繰り上がって「00秒」に合います。

時刻合わせは、電話の時報サービス Tel.117が便利です。

③ 合わせ終わったら、必ずボタン (B) を押して **時刻表示** にしてください。



ボタン (A) を押すと、点滅している数字が、1つずつ進みます。

ただし、「秒」については右の説明を参照ください。

「時」の合わせの際、午後の「時」では「秒」の位置にAMの「A」あるいはPMの「P」が表示されますので、午前・午後にご注意して合わせてください。